



パネルディスカッション

市は「保育所における発達障害児への支援」と題したシンポジウムを8月17日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

庄原市障害者支援アドバイザーで文京学院大学の伊藤英夫教授をコーディネーターに、4人のパネリストがそれぞれの立場から発表し、その後意見交換を行いました。

最初に、市社会福祉課の兼森博夫課長が「行政における支援連携の方針」について説明。次に保育所現場から、七塚保育所の古川玲子所長、庄原保育所の輪手賀代子保育士、数信みの



新成人の決意を述べる藤原翼さん

記念行事では、庄原市出身の落語家林家ひろ木さん（本名／沖上比呂志さん）が新成人にエールを送り、落語で会場を盛り上げ、式に



祝賀パーティーを楽しむ新成人

の久しぶりの再会を楽しんでいました。

会課 福祉

身近な現場から発達障害を考える 発達障害児支援シンポジウム

市は「保育所における発達障害児への支援」と題したシンポジウムを8月17日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

り保育所の永奥千草保育士が、各保育所の保育状況や専門職の助言を受けた支援の成果など、感想を交えて報告しました。

会場では、保護者をはじめ、保育・教育関係者、民生委員児童委員、福祉事業所関係者など約150人が熱心に聴講。発達障害に対する関心の高まりが伺えました。

参加者からは「行政の組織や役割について知ることができてよかった」「現場の生の声が聞けてよかった」「保育所の取り組みや支援方法を参考にしたい」という意見が多く寄せられました。

伊藤教授は「発達障害は原因が解明されないなかで全国的に増加している。庄原市の取り組みは先進的であり、連携方針に沿った早期発見、適切な支援の取り組みが重要」と話していました。

発達障害児（者）への支援は、市内に専門の療育機関がない県内でも障害を認定する専門心理士が少ないなど、まだまだ課題があるのが現状です。今後こうした機会を設け、発達障害への理解促進と、早期発見、適切な支援に努めていきます。

涯課 学習

将来を担う若人にエール 平成23年度庄原市成人式

平成23年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。

今年の新成人は、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生れた市内在住者および庄原市出身者で、270人が出席しました。

はじめに、滝口季彦市長が「皆さんを育てたふるさとの自然や景色、家族や友人のことを忘れないで、強く、優しく、たくましく、自らの意思と責任を携えてこれからの人生を歩んでください」と新成人を激励しました。

新成人を代表して、藤原翼さん（西城町）が「支えられる人間から、支える人間として、おのおのが選んだ道を自覚と責任を持ってしっかりと歩み、若さと情熱を持って少しでも周囲の方々や社会にお返ししていきたい」と決意を述べました。



会場を盛り上げる林家ひろ木さん

今回配布されたしおりは、表紙に庄原市の写真家金山二宏さんが撮影した市内の風景写真を使用。中には新成人が中学校3年生だった当時の担任の先生からのメッセージが添えられており、みんな懐かしみながらメッセージを読み返していました。

成人式終了後には、実行委員会主催の祝賀パーティーが行われ、それぞれの近況や思い出を語りながら、友人との久しぶりの再会を楽しんでいました。

業課 農振

今後の農業経営に期待膨らむ 市の農業後継者育成事業第一期生が初出荷



荷に加えインターネット販売などを行いたい」と意欲満々。現在、畑にはナスやキュウリなどが植え付けられて順調に生育しており、出荷に向けた準備に汗を流しています。

農業後継者育成事業に関するお問い合わせは、農業振興課農業振興係（☎0824-731113）まで。

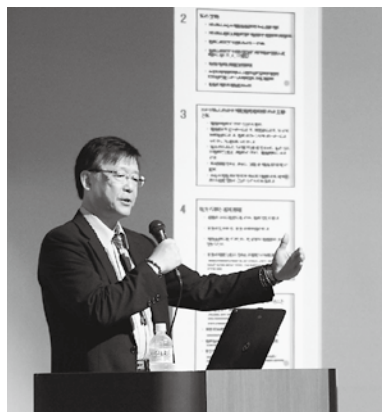
治課 自振

地域力は資源力と人間力 地域おこし講演会

地域力と地域おこしを考える「地域おこし講演会」が7月30日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

当日は、各自治振興区などから164人が集まる中、総務省自治財政局長の椎川忍さんが「地域力創造と地域おこしのヒント」と題し講演。自身の活動経験や具体的事例を交えながら、地域おこしにつながるヒントや協働のまちづくりの手がかりについて熱く語りました。

参加者は「とても参考になった。今



講演する椎川自治財政局長

後の地域づくりに生かしたい」と話していました。

業課 農振

和牛オリンピック上位入賞を目指して 全国和牛能力共進会对策協議会設立

庄原市第10回全国和牛能力共進会对策協議会の設立総会が7月19日、庄原農業協同組合本所で開催されました。

この協議会は、来年10月に長崎県で開催される「第10回全国和牛能力共進会」に向け、同共進会での上位入賞を果たすこと、そのための推進体制の整備することを目的に設立。

この日、県や農協、和牛改良組合など関係者26人が出席し、庄原市を和牛産地として全国にとどろかせるため、関係者が一体となって取り組んでいくことを確認。

今後、市も協議会の一員として、各関係機関と協力連携しながら積極的に取り組みを進めていきます。



総会のようす